

令和3年7月8日

令和3年第2回神奈川県議会定例会

防災警察常任委員会報告資料

くらし安全防災局

目 次

I	令和3年7月1日からの大雨に係る対応	1
II	豚熱を疑う事例の発生	3

I 令和3年7月1日からの大雨に係る対応

1 県内の概況

(1) 降雨の状況

7月1日から本格的に降り始めた雨は、7月2日から3日にかけて、梅雨前線が太平洋沿岸で停滞したことにより、箱根町など県内各地で大雨となった。

7月2日から3日までの降水量は箱根町で675mmとなるなど、記録的な大雨を観測した。（6月30日11時頃から7月5日6時00分までの累計雨量は箱根町で848.5mm）

(2) 気象警報の発表状況

7月1日19時29分に大雨警報が発表され、3日1時15分に土砂災害警戒情報、2時3分には洪水警報が発表された。

土砂災害警戒情報は7月3日21時40分に解除され、大雨警報は4日22時38分、洪水警報は5日6時00分に解除された。

(3) 避難情報の発令状況

平塚市では、7月3日7時4分に金目川、54分に金目川を含む6河川において、周辺の住民を対象に、洪水による浸水被害が発生している可能性があるとして、災害発生の危険度が最も高い警戒レベル5の「緊急安全確保」を発令した。

このほか、5市4町ではレベル4の「避難指示」を発令した。

2 県内の被害状況（7月7日18時45分現在）

- ・ 人的被害：行方不明者1人、軽傷者1人
- ・ 住家被害：全壊1棟、一部損壊5棟、床上浸水4棟、床下浸水23棟
- ・ 土砂災害：崖崩れ129件

3 対応状況（7月5日6時30分現在）

(1) 暮らし安全防災局の体制

- ・ 7月1日19時29分 警戒体制に移行
- ・ 7月3日 土砂災害警戒情報の発表状況を踏まえ、第1次応急体制（3個班）に移行

(2) 新型コロナウイルス感染症に係る自宅療養者の情報提供

保健所設置市を除く9市町に、自宅療養者の情報を順次送付した。

4 被災地支援

(1) 静岡県への連絡員の派遣

暮らし安全防災局職員を7月6日に3名、7日に2名、静岡県庁に派遣し、具体的支援の調整を実施した。

(2) 緊急消防援助隊の静岡県熱海市への出動

- 7月3日17時07分 消防庁から神奈川県に出動指示
19時51分 第一次派遣隊の一部が出動開始
- 7月6日10時00分 第二次派遣隊出発（第一次派遣隊と交代）
- 7月8日10時00分 第三次派遣隊出発予定（第二次派遣隊と交代）

II 豚熱を疑う事例の発生

1 発生の概要

(1) 疑い事例の発生農場

所在地：相模原市

飼養状況：豚 約 4,400 頭

(2) 経緯（疑い事例の発生）

昨日（7月7日）、相模原市内の農場へ豚熱ワクチン接種のために県央家畜保健衛生所の家畜防疫員が立ち入った際、農場主より「豚が異常を呈している」との申し出があった。

同家畜防疫員が現地を調査し、抗原検査を行ったところ、本日（7月8日）豚熱の陽性反応が認められた。

（死体1頭中1頭陽性、生体1頭中1頭陽性）

(3) 今後の確定検査

本日、豚熱感染の有無を調べるため、農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生部門(注)において遺伝子解析検査を行う。

(注) 日本唯一の動物衛生に関する専門研究機関

2 今後の予定

(1) 神奈川県危機管理対策本部の設置等

疑い事例の発生を受け、本日、知事を本部長とする神奈川県危機管理対策本部を設置するとともに、第1回神奈川県危機管理対策本部会議を開催し、豚熱の感染が確定した際の対処方針を決定する。

(2) 今後の防疫措置

遺伝子解析検査の結果、豚熱の感染が確定した場合、神奈川県は、直ちに飼養豚の殺処分等の防疫措置に着手する。